

2008年5月22日

トピー工業株式会社

約 25 億円の投資により異形形鋼の生産能力を約 15%向上!!

— 旺盛な建設機械足回り部品の素材供給力・一貫生産能力の増強 —

トピー工業（本社：東京都品川区、社長：清水良朗）は、豊橋製造所（愛知県豊橋市）内の異形形鋼の圧延ラインである中形圧延工場に対して、約 25 億円の設備投資をいたします。今回の設備投資は、2009 年 9 月を完成目標としており、生産能力を約 15%向上させます。よりフレキシブルな小ロット多品種生産体制を構築し、ユーザーの増産要請に応えるものです。

トピー工業は、現在実行しています 2007 年～2009 年中期連結経営計画（MS-2007）において、建設機械足回り部品を成長分野としてとらえ、得意とする「素材から製品までの一貫生産能力」の増強に取り組んでいます。現在、建設機械市場は、世界的な資源開発の活況を背景に高成長が見込まれており、トピー工業が製造する建設機械足回り部品である履板や鉱山向け大型ダンプトラック用ホイールの需要も旺盛になると予想しています。このたびの設備投資は、MS-2007 で取り組んできた建設機械の能力増強の一環として素材供給部門の生産能力を増強するものです。

異形形鋼とは、H 形鋼や山形鋼、溝形鋼と異なり、ユーザーの用途や軽量化ニーズに対して最適な非対称の断面形状を持つ鋼材で、建設機械の足回り部品である履板やトラック・バス用スチールホイールのリムなど様々な分野で使用されています。この異形形鋼の複雑な形状を圧延するためには、ロール形状の工夫など独自の技術力が必要となります。トピー工業は、異形形鋼のトップメーカーであり、履板、ホイールを素材から製品まで一貫生産しております。



写真：異形形鋼（履板材）

トピー工業は、コンピュータを駆使した最新技術と長きにわたる鉄との関わりの中で、最適な異形形鋼を生み出し、顧客のニーズに応じてまいりました。コーポレートメッセージ「One-piece Cycle」で表すように、複数の事業部門それぞれが培ったノウハウを互いに共有することで、これからも独創性の高い技術を開発し、付加価値の高い製品を送り出してまいります。今後も顧客と時代の要請にいち早く応じて、より高度な機能を備えた製品の開発に努めてまいります。

以 上

【お問い合わせ先】 総務部 広報担当 TEL.03-3493-0777

<ご 参 考>

【トピー工業株式会社の概要】

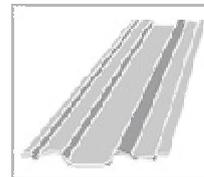
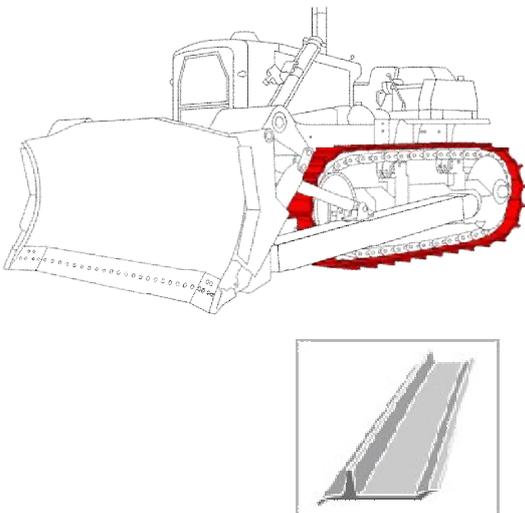
会 社 名：トピー工業株式会社
所 在 地：東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー
創 立：1921(大正 10)年 10 月
資 本 金：18,093 百万円
代 表 者：取締役社長 清水 良朗
事 業 内 容：自動車用ホイール、建設機械足回り部品、鋼材、鋼橋梁他の製造・販売
連 結 売 上 高：296,629 百万円（2007 年度実績）
ウエブサイト：<http://www.topy.co.jp/>

【設備投資の概要】

所 在 地：愛知県豊橋市明海町 1 番地(トピー工業株式会社 豊橋製造所 中形圧延工場)
工 程：異形鋼の圧延
総 投 資 額：約 24 億 8 千万円
投 資 設 備：選別・パイリング設備、建屋・クレーン設備、切断設備、圧迫矯正機・加工場、
加熱・粗圧延設備
稼 働 開 始：2009 年 10 月稼働開始

【異形鋼の使用例】

履板（建設機械の足回り部品）



自動車用スチールホイールのリム

【一貫生産】

トピー工業は、“世界トップクラスの総合ホイールメーカー”、“建設機械の総合足回りメーカー”であると同時に、電気炉製鋼により素材となる鉄を生産しています。素材を自社で生産できることから、これまでも他社とは異なる着想で新製品を開発し、お客様のニーズにお応えして参りました。素材から最適な製品設計を行うこの一貫生産は、トピー工業の特色となっています。

スチール事業部：電気炉で履板やホイールへ加工する前の異形鋼などを製鋼・熱間圧延工程で製造

プレス事業部：自動車用ホイールや鉱山向け大型ダンプトラック用ホイールなどを設計し、異形鋼や薄板、アルミをもとに加工・製造

造機事業部：建設機械の足回り部品である履板などを設計し、異形鋼などをもとに加工・製造

以 上